

政策実現に全力尽くす

党神奈川
県本部 各種団体の要望受ける



神奈川県建設業協会から要望を受ける上田県代表(右から2人目)ら=31日 神奈川県庁

公明党神奈川県本部の上田勇代表(衆院議員)、古屋範子衆院議員、佐々木さやか参院議員、党神奈川県議団(鈴木秀志団長)は31日、県庁内で各種団体から来年度予算に関する要望を受けた。

このうち、県建設業協会の小俣務会長らは防災・減災対策の必要性とともに、地域経済の活性化や雇用の創出などに効果が期待される公共事業関係予算の増額確保を要請。さらに、①地域に貢献している企業を対象とした指名競争入札の導入②県発注工事に対する県内建設業者の活用③若手建設労働者の雇用促進に向けた助成制度の創設——などを求めた。各団体の要望に対し、上田県代表らは「必要な政策の実現に全力を尽くす」と述べた。